

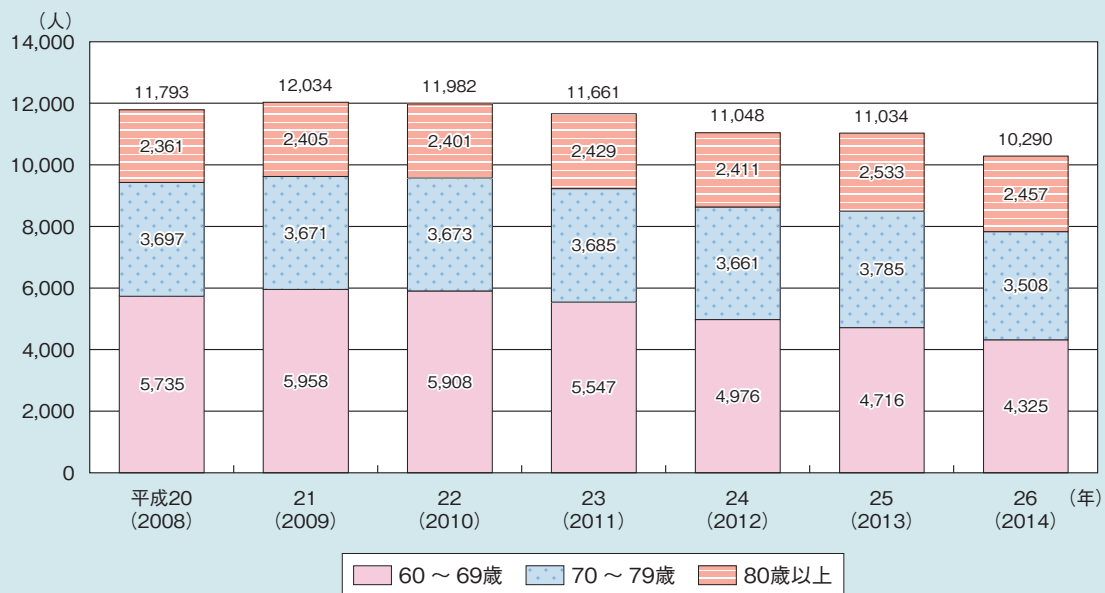
(7) 東日本大震災における高齢者の被害状況

平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災における高齢者の被害状況をみると、被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県の3県で収容された死亡者は27（2015）年3月11日までに15,821人にのぼり、検視等を終えて年齢が判明している15,738人のうち60歳以上の高齢者は10,396人と66.1%を占めている（図1-2-6-21）。

また、東日本大震災における震災関連死の死者¹数は、平成26（2014）年9月30日時点で3,194人にのぼり、このうち66歳以上が2,841人と全体の88.9%を占めている。

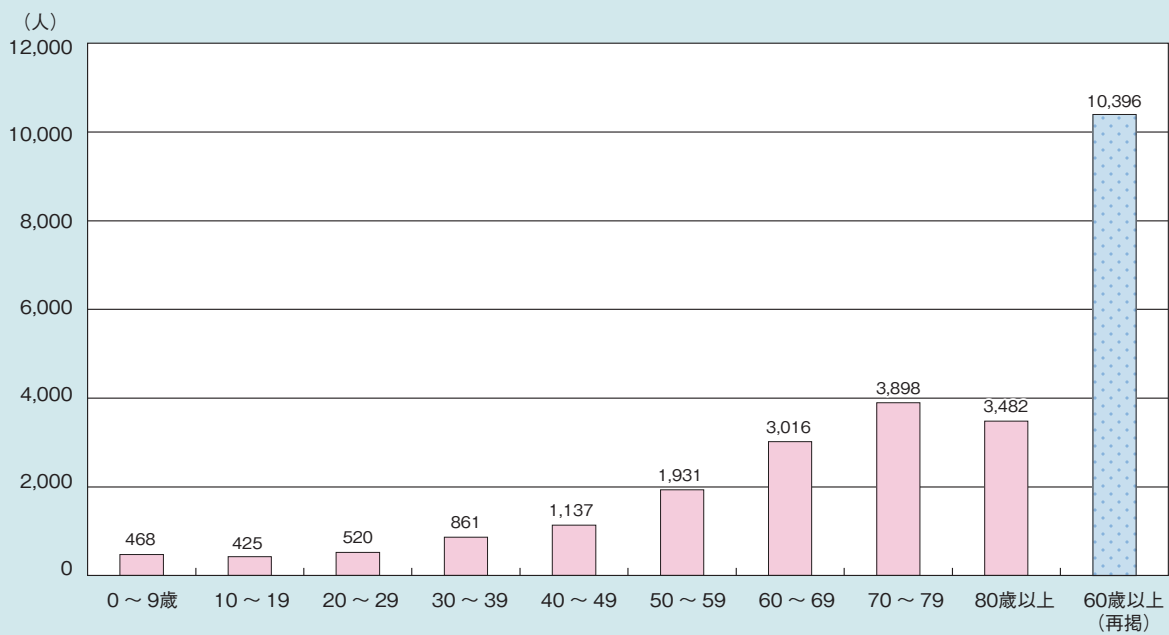
（注1）「震災関連死の死者」とは、「東日本大震災による負傷の悪化等により亡くなられた方で、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、当該災害弔慰金の支給対象となった方」と定義。（実際には支給されていない方も含む。）

図1-2-6-20 高齢者（60歳以上）の自殺者数の推移



資料：内閣府・警察庁「平成25年中における自殺の状況」に基づき内閣府が作成

図1-2-6-21 年齢階級別死亡者数



資料：警察庁「東北地方太平洋沖地震における検視等実施・身元確認状況等について【23.3.11～27.3.11】」より
 ※検視等を終えて年齢が判明している者を集計